



761号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港
福会館 5階

Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622

メール roren@kensu.jp

ホームページ http://www.kensu.jp/

全国検数労働組合連合
書記局

3月14日(木)第4回 検数労連24春闘交渉 10:00~10:30

両協会は内部留保を活用してでも要求に沿った大幅賃上げを！

3月14日(木)第4回検数労連24春闘交渉で組合は有額回答に向けた考え方の披歴を求め交渉を行いました。

冒頭、石橋中央執行委員長は、先日開催された第2回中央港湾団交の経過に触れ、全国港湾でもパートナースhipによる適正料金の取り組みについて業側に言及があったことや、この間の検数労連オルグでは現場で働く組合員の賃上げに対する期待が大きいこと。しかしながら、直近の動向を見ると取扱貨物量が減少傾向にあるが、各現場で働く組合員のモチベーションを上げるためには大幅な賃上げが必要であると強調したうえで、両協会に対し、有額回答に向けた考え方の披歴を求めました。

《全日検》

先日の中央港湾団交では、労組要求に対する業界の回答が十分のものとの判断の中で、組合側は『行動の自由の留保』との回答が出された。全日検としては今後の動向を注視しているところである。

有額回答に向けた考え方については、現在、予算審議の最中であり、その審議を通して年度内の収入がどれくらい確保できるかが確認でき、そこから来年度に向けた見通しを立てていく中で現時点ではまだ労組に披歴できるだけには至っていない。しかしながら、現時点で披歴できる内容としては、回答構築の方法については、これまでと同様の方法で考えている。

いずれにせよ今しばらくの時間

をいただきたい。

《日検協会》

有額回答に向けた考え方について、現在、2023年度損益実績、2024年度損益見込みの審議を終えた。また、2024年度計画については、精査している最中である。各支部より取り寄せた資料を見ると、各支部の数字に差が出ており、計画通りに推移している支部とそうでない支部と明暗差が分かれています。よって、現時点で有額回答に向けた考え方については回答できる段階には至っていない、いましばらく時間をいただきたい。

《組合主張》

中央港湾団交の動きが進展していない中で、両協会も回答を提示しづらい部分はあると思うが、組合はこの間、全国オルグ等を展開してきたなかで、各地域の組合員の切実な声に耳を傾けてきた。オルグの中では組合員の苦しい生活実態や今春闘での賃上げに対する強い思いが伝わってきていることから、両協会は内部留保を使ってでも組合要求に沿った有額回答を提示するべきである。

先日、業界紙に倉庫業界も国交省とタイアップして荷主団体に料金改定に対する申し入れ書を提出する」と書いてあった。

検数でもパートナースhipによる適正料金の取り組みを行っていると思うが、やはり毎年の賃上げがある分、毎年取り組みなければならぬことであるし、この取り組みを強化する事

で賃上げや労働条件改善の原資が確保できることから『適正料金収受』の取り組みは通年課題として取り組んでいただきたい。

「検数労連名古屋支部24春闘オルグ開催」

3月2日(土) 検数労連中央執行部から石橋中央執行委員長と高木中央副委員長を招き、中央オルグを開催しました。

参加者は29名で『港湾産別24春闘の経過を踏まえた検数に係る内容と取り組み』『平和課題』『組織運営・強化の取り組みと重要性』についてオルグを行いました。

冒頭、尾崎委員長より『物価高騰を上回る賃上げ無しには終われない春闘。昨年に続き政府・マスコミも大幅賃上げの合唱となっており、今春闘も大幅賃上げに対する追い風がある。24春闘、大幅賃上げに向けて全力で取り組んで行きたいと思っている』と挨拶がされました。

石橋中央執行委員長からは『24春闘について』として、産別要求・検数春闘について内容の説明を受けながら、今春闘での闘いの重要性や『魅力ある港湾・検数職場に向けた取り組み』と『平和課題』として港湾を兵站基地にさせない取り組みの重要性について説明がされました。

【参加組合員の声】

オルグに参加した組合員からは次の点が強調されました。
・賃上げは生活苦のいま、特に重

要課題であり、今春闘では是が非でも上げてほしい。
・周りと比べて賃金が低く、春闘での賃上げに期待する。
・物価高騰に賃金が追いついていない。

・人員不足が厳しい。
・最低でも満額回答。更なる上積み。生活苦しい。
・諸課題があるが、何より今後の職域と収入が心配。
・新規事業の開拓も必要。
・まずは基礎となる人員不足の解消。それに尽きる！

・検数は何より『人』が大切。質の高い人材が、魅力があり働き続けたいと思う職場にするのが我々の課題と感じている。



次回交渉
3月28日(木)
検数労連第5回
24春闘交渉
10:00~